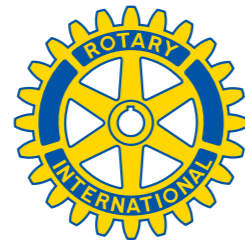


2012-2013 ガバナー月信

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

11



奉仕を通じて平和を

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

2012-2013 ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2510



国際ロータリー第2510地区

2012-2013年度ガバナー 細川好弘

〒060-0042 北海道札幌市中央区大通西11丁目4 大通藤井ビル7F

TEL(011)207-2510 FAX(011)207-2512

e-mail : rid2510@nifty.com http://rid2510.org

2012-13年度 国際ロータリーのテーマ

奉仕を通じて平和を Peace Through Service



国際ロータリー第2510地区2012-2013年度 地区目標

- I ロータリーを新世代と共に未来につなげよう。
- II 地域や世界に役立つ奉仕をしよう。
- III 今一度、親睦と友情を拡大しよう。

CONTENTS

ガバナーメッセージ	1
ロータリー財団月間に因んで	2
未来の夢計画の本実施に向けて	4
奉仕活動と資金調達は車の両輪	5
職業研修委員会	6
奨学金、とGSE	7
ロータリー財団月間によせて	8
ローターアクト活動報告(福島キッズキャンプin北海道)	9
2013年ポルトガル・リスボン国際大会最終のご案内	10
公式訪問報告	12
第9グループ合同奉仕活動報告/米山寄付、ロータリー財団寄付	17
新会員紹介、訃報/文庫通信	18
地区カレンダー	19
出席率・会員数	20



「毎年あなたも100ドル」で 世界でよいことをしよう。

国際ロータリー第2510地区

2012-13年度ガバナー 細川好弘 (静内RC)

野山も衣をかえる季節となりました。

田中作次国際ロータリー会長年度に記念すべき地区大会を「ここから平和へ」の願いを込めて開催させていただきました。地方での開催で大変ご不便をおかけした事にお許しを願いますとともに、楽しい出会いと学ぶ機会に恵まれたことに感謝を申し上げます。

さて11月はロータリー財団月間であります。

ロータリー財団が寄付金と投資収益で成り立っていることは周知の通りであります。

ロータリー財団の正式名称は「国際ロータリーのロータリー財団」であり、1917年の国際大会でアーチ C. クランフR I 会長が「全世界的な規模で慈善、教育、その他社会奉仕の分野でよりよきことをするために基金をつくろう」と提案したことにより始まった非営利財団法人で、基金として発足しております。

1928年の国際大会で正式に「ロータリー財団」と名付けられ、人道的、教育的、文化交流プログラムの補助金として授与されております。

この財団によって世界の人々の間に理解と友好関係を増進することが大きな目的でもあります。

日本財団は公益に貢献していることが認められ、公益財団法人として認可されております。従って昨年12月24日以降、ロータリー日本財団を窓口とする寄付金はすべて日本の税制上の優遇措置の適用を受けることが認められております。

皆さんからお寄せいただいた寄付金は国際ロータリーのロータリー財団に送金され、奨学事業の他に東日本震災復興基金プログラムを含め、全ての世界的目標と地元の目標の両方を果たすための資金が提供されます。

特に地区補助金制度等により地区の活動に還元されておりますが、当地区でも幅広く資金提供を受けておりますことはガバナー月信等で報告されております。

ロータリー財団への寄付には、年次プログラム基金（「毎年あなたも100ドルを」）、恒久基金、用途指定寄付、冠名奨学金、冠名基金などがありますが、この基金管理運営を改善すべく「未来の夢計画」として次年度へ移行いたします。

本年は移行のための準備年度として、善意の寄付に対する責任を果たすためにも资金管理における責務は当然でありますので、財団委員会の小委員会の組織編成の検討など積み上げてきた実績を更に財団の未来を築くための作業を推進しなければなりません。

田中作次R I 会長はロータリーカードの利用で年次基金として寄付され、ロータリー活動を支援することに貢献できることを奨励しております。

信頼関係が原点にあります寄付文化の熟成とともに財団プログラムを成功へ導く、ロータリアンの「毎年あなたも100ドルを」で世界でよいことをしましょう。



ロータリー財団月間に因んで

地区ロータリー財団委員会

委員長 **岩城 秀晴**

(札幌南RC・PG)

11月のロータリー財団月間にあたって、皆様方に是非知って戴きたいことを申し述べます。

I ロータリー財団のおいたち

さて、御高承のとおりロータリー財団は「世の善行をしよう」と、1917年のアトランタの国際大会において提案され、1928年の国際大会において、ロータリー財団と名付けられ1931年には信託組織となり、1983年にイリノイ州法法令により非営利団体となったのです。そして、以来、世界恐慌、第2次世界大戦と続き、ロータリー財団は一時停滞しましたが、1947年1月にポール・ハリスが亡くなると、その死を悼み、寄付金がロータリー財団に寄せられました。

そして、1948年6月までに寄付金は100万ドルに達しました。そして、1957(昭和32)年にポール・ハリス・フェローの認証制度が創られ、以来1,000ドルでフェローとなる制度が創られたのです。

このように、ロータリー財団の創立された経過であり、かつ、これを受け継いだ活動が脈々と私ども会員の胸を打つものが生まれ、そして財団への熱き思いによって、ロータリーへのプログラムが活発になったのです。

II ロータリー財団の現行について

それでは、当地区の2012-2013年度の実施計画はどうなっているのでしょうか？

1. 活動方針

- (1) 財団の認識を高め、世の善行を行うことが1917年にアーチ C. クランフがロータリー財団への基金を創設した基本理念により、その目標を達成しよう。
- (2) 特に2013年度より実行される未来の夢計画に対しての新制度への体制づくりを確立させる。

2. 活動計画

- (1) 財団への「毎年あなたも100ドル」を寄付する。
- (2) 2012-2013年度、年次寄付の地区目標を30万ドルとします。
- (3) 恒久基金、使途指定、大口寄付、ポール・ハリス・ソサエティへの協力
- (4) 2011年4月1日より「公益財団法人ロータリー日本財団」への寄付は税制上の優遇措置を受けることになったことの周知に努める。
- (5) 未来の夢計画を理解し、新制度への移行期の2013-2014年度には補助金制度を周知させる。
- (6) 未来の夢計画の実施制度に資金管理委員会を創設する。
- (7) 各プログラムに積極的に参加する。
- (8) ロータリーカードへの協力

以上、当年度の地区としての活動方針を述べました。

さて、それでは実際に2011-2012年度の当地区の寄付額は354,152.07ドルでありました。皆様方のご理解とご協力により目標額の30万ドルを上廻ることができました。この年度は東日本大震災による寄付もこれあり、二重の寄付額になったことに対しましては心苦しく思っております。ありがとうございました。

さて、ここでロータリー財団が実際に実施している3プログラムについて簡単にご説明いたします。

プログラムにつきましては大別して

1. 教育的プログラム

(1) ロータリー財団・国際親善奨学金

他国の教育機関で勉強させることによって、相異なる国民間の理解と友好関係の増進をさせることにあります。地区でも奨学生の選考とともに留学をサポートしております。毎年6名程度の奨学生を送っておりますが、1名当たり約27,000ドル(1年制)を支給しております。

(次年度からはこの制度はなくなります)

(2) 研究グループ交換 (GSE)

25歳から40歳までの4名のチーム・メンバーとロータリアンのチーム・リーダーがGSEチームを構成して、2ヶ国がGSEチームを交換し、互いの国の文化の違い等について学ぶもので、2011-12年度はドイツのミュンヘン地区が1ヶ月滞在して、昨年10月15日の地区大会に出席致しました。そして、当地区からは2012年4月にチーム・リーダーのもと5名が滞在して交換致しました。

(なお、2013年度からはこの制度はなくなります)

(3) 財団学友 (F A)

当地区では、留学した元財団奨学生とGSE元団員が帰国後の活動を実施、ロータリアンとなられた方もあり、当地区で財団学友会を設立しており、他地区からも高く評価されております。

2. 人道的プログラム

(1) 保健、飢餓追放および人間尊重 (3-H) 補助金

①健康状態を改善する ②飢餓を救済 ③人道的社会的発展を図る
として、特にポリオ・プラス・プログラムは根絶運動が進められております。

(2) 地区補助金 (DSG)

地区補助金は特に人道的プログラムのみを使うことにしております。

(3) ボランティア奉仕 (VSG)

医療、地域開発、教育、給水、医療品や設備等に支出されます。

(4) マッチング・グラント (M・G)

当地区は、国際奉仕として、ある国のロータリークラブが人道的プロジェクトを実施しようとしたが、資金や専門知識が不足して海外に援助を求めてきます。この場合に援助するのが国際奉仕です。そして、そのプロジェクトの補助金を申請しますとロータリー財団のプログラム、マッチング・グラントとなって実施されるのです。

以上が従来までのロータリー財団プログラムの概要です。

III 未来の夢計画に向けて (2013-2014年度以降)

ロータリー財団は2017年にロータリー財団が設立100周年を迎えることを踏まえ、ロータリー財団管理委員会は財団が奉仕の2世紀目に実行するための計画を立案しました。

この計画は、財団を通じて、さらに持続が可能で、かつ目に見える成果を世界中にもたらしたいというロータリアンの願いと関心を反映したものです。

従って簡素化され、柔軟性を備えた新しいモデルでは、各種手続きをオンラインで行うことができるものです。

未来の夢計画の目的は、

(1) 財団の使命に沿って、プログラムと運営を簡素化すること。

(2) ロータリアンが関心を寄せて、世界の優先的ニーズに取り組むことによって最大の成果が期待できるロータリアンの奉仕活動に焦点を絞ること。

(3) 世界的目標と地元の目標の両方を果たすための資金を提供すること。

(4) 意志決定権をさらに地区に移行することによって、地区レベルとクラブレベルで、ロータリー財団が自分たちのものであるという自覚を高めること。

(5) ロータリー財団の活動に対する理解を深め、ロータリーの公共イメージを高めること。

このように、未来の夢計画の中では、地区が責任をもって奉仕活動をするので、その補助金の使用も新地区補助金とグローバル補助金の2種類とし、この補助金によってクラブと地区は地元や海外で幅広い人道的教育的活動を実施することができるようになりました。

従って、当地区の財団委員会としては2013-2014年度までに以降準備を現行と並行して行かねばならないと考えております。

それには、まず現行を着実に実施し、そして未来の夢計画の移行準備を進め、その移行事務の一環として、地区補助金管理セミナーを11月10日(土)に実施して参ります。逐次、未来の夢計画への軌道に乗せるべく作業を進めて参りますので、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

IV むすび

ロータリー財団は、これからの国際ロータリーを世のため、人のために輪を拡げて行こうとする今日、その前進はロータリアンの我々が一人一人の力によって拡がって行き、かつ高きに登り、田中作次R I会長のテーマである「奉仕を通じて平和を」目指し、貴重な奉仕の力をより一層深めていくことが大切であります。

11月は財団月間です。クラブの力によって強めようと考えている者として、一層のご理解とご協力を重ねてお願い申し上げます。



未来の夢計画の本実施に向けて

地区補助金委員会

委員長 久保田 俊昭
(札幌RC)

財団関係の小委員会は、2013年度から本格実施される「未来の夢計画」のスムーズな実施を目指して、新しく再編成されました。当委員会の役割は、クラブが財団の新しい仕組みを理解して頂くためにも、新補助金の効果的活用に向けての指導・支援を行うことですので、ご不明な点がございましたらお問い合わせ頂きたいと存じます。

クラブと地区が地域密着での各種奉仕プロジェクトを展開するうえで、皆様方の善意に因る浄財を効果的に活用するためにも、効率的・適正な配分と厳正な活用に留意していかねばなりません。

未来の夢計画では、従来の12種類のプログラムが、「新地区補助金」、「グローバル補助金」、「パッケージ・グラント」の3種類のみとなりますが、クラブが持続可能なプロジェクトに資金を最大限に活用して、大きな成果をもたらすことを目的としております。

2012-13年度においては、財団が従来から実践しているプログラムを実施しつつ、「未来の夢計画」の本実施に向けて、先行パイロット地区での実施事例を参考にして、当地区としての所要の準備を怠り無く進めていく必要があります。

地区の財団関係の各小委員会においては、地区内関係委員会や細川年度の地区幹事等のご支援を頂き、また地区財団委員会を開催して検討を進めて参りました。この結果、財団活動をご理解頂くための冊子として「ロータリー財団の概要」を編纂するとともに、10月には地区として未来の夢の計画への参加資格認定手続きを終え、11月には「クラブへの資格付与」に向けて「補助金管理セミナー」を開催すべく諸準備を進めております。

なお今後、クラブが地区補助金を活用するためには、①補助金管理セミナーの受講、②補助金授受の銀行口座の開設、③クラブでの補助金会計管理の徹底、④補助金活用に関する所要書類を一定期間保存し、⑤クラブ覚書(MOU)に同意署名をすることが義務付けられております。

今後、地区としては、クラブが、地域で主体性をもって自主的な奉仕プロジェクトを実施していくうえにおいて、その調査・計画作りや、新補助金活用に向けての事務手続き等を進めるうえでの協力支援を適切に行う所存であります。

2012-13年度は、旧来の財団プログラムの実践と、2013年度から本格実施する新しい補助金制度(未来の夢計画)の実施に向けて、クラブ指導・支援や地区内関係委員会との協議を重ねて参りますので、引き続きのご支援・ご協力をお願い申し上げます。



奉仕活動と資金調達は車の両輪

地区財団資金推進委員会

委員長 鍋谷操子

(函館セントラルRC)

当委員会は、2013年度から本格実施される財団の「未来の夢計画」のスタートに先駆けて新設されました。委員会の役割は、地区の募金活動の方策を監督し、クラブが年次プログラム基金と恒久基金への寄付目標を設定してこれを達成できるよう支援することでありますが、今後、会員皆様のご指導・ご支援を賜り、重責を果たして参りますので、ご協力のほど宜しくお願い申し上げます。

1917年の国際大会で、当時のRI会長のアーチ C. クランフが、ロータリー基金の創設を呼びかけ、それに呼応して、翌年、カンザスシティーRCが26.5ドルを基金に寄付しましたが、これがロータリー基金にとっての最初の寄付金であります。

私達が、地域社会や国際社会で奉仕活動をさらに強化し、増大していくためには、奉仕活動の充実と資金面での援助が必要であります。2001年規定審議会では、「毎年1人当たりの寄付を100ドル」にする決議が採択され、さらに2004年規定審議会では、「Every Rotarian Every Year(毎年あなたも100ドルを)」が採択され、1人1人が、毎年、寄付をしてほしいということが決議されております。

当地区としては、「毎年あなたも100ドル」を寄付することを目標に掲げ、さらに、会員数から推して、年次寄付の目標を30万ドルとしています。皆様のご理解によりまして、昨年度は目標を達成しており、深く御礼申し上げます。

さらに寄付金としては、上記の年次寄付以外として、恒久基金、指定用途寄付、ポール・ハリス・ソサエティへの協力についてもお願いしておりますが、ロータリアンの皆様のご理解が進んでいないことが残念でなりません。

財団では他の奉仕団体とは異なり、すべての寄付を奉仕活動に使っており、財団の運営費等は皆様からの寄付を運用した運用益から賄っております。また、ロータリアン一人一人からの寄付は、世界中で有効に使われており、寄付をするということは、世界中の奉仕活動に参加しているということをご理解頂きたいと存じます。

なお、財団への寄付に対しては、寄付者に分かり易い形で、寄付行為に感謝の念を表す「認証」があり（寄付者とすぐに分かるように着用できるピンなどを寄付者に贈る）、また、個人や法人の寄付に対して、税制上の優遇処置を講じることができるようになっております。

社会経済情勢が先行き不安定で、景気回復に向けての足取りも定かでない今日、財団へのご寄付をお願い申し上げますことは誠に心苦しいことではあります。世界平和の達成・維持に向けてのご支援・ご協力を深くお願い申し上げます。



職業研修委員会

地区職業研修委員会

委員長 神部 洋史
(滝川RC)

未来の夢計画では、今までの研究グループ交換：Group Study Exchange(GSE)がなくなり、新たに2013年7月から職業研修チーム：Vocational training team(VTT)を編成して海外の地区への派遣や、その受入れをする活動に変わります。大きな特徴は原則的には交換ではなく、派遣や受入れの、どちらかをする事になります。また派遣団員の年齢や派遣期間についても制限はなくなりました。GSEと同様に、地区でこの事業を行うことは出来ますが、各クラブ単独や複数のクラブでもVTTの派遣することが出来ます。しかし、当該の地区やクラブはインターネットを使ってロータリー財団と覚書（MOU）を交わして許可されていなければ、対象とはなりません。一昨年まで地区にあったGSE委員会は昨年からは職業研修委員会となり、VTTを編成して派遣や受入れを行う委員会（いわばVTT委員会）となりました。

【職業研修チーム】 Vocational Training Team (VTT)

職業研修チーム(VTT)は、新地区補助金とグローバル補助金のどちらも利用可能です。新地区補助金を利用するチームはGSEと似ていますが、参加者の年齢や交換期間の制限がないという点で異なっています。グローバル補助金を利用するチームは、海外へ赴き、重点分野（*下記参照）に関連する問題に取り組んだり、その取り組み方法を学んだりします。一つのチームは、ロータリアンのチームリーダー最低1名、およびロータリアン以外の参加者最低3名から成ります。チームの人数に上限はなく、参加年齢の制限もありませんが、一つのチームに属する全参加者は、補助金の目標と関連する職能や経験を備えている必要があります。研修の実施期間に制限はなく、補助金の目標にふさわしいさまざまな場所（大学、病院、企業など）で行うことができます。GSEでは原則ホームステイのみでしたが、VTTは、ロータリアンの自宅、大学寮、ホテルに滞在します。1件の補助金で複数のチームを派遣することもできます。研修チームの費用は、グローバル補助金のプロジェクト総費用の最低限度である30,000米ドルを満たさなければなりません。これには、チームメンバーにかかる費用に加え、そのほかこの補助金に関連する活動すべての費用も含まれます。

これらの基準に則り、我々地区職業研修委員会は実施に向けて準備中ですが、実際には各クラブが申請するMOUのやり方などについては、つい最近マニュアルが電子データで配信されてきたばかりの状態、具体的には2013年1月に行われる国際協議会で同時に開催される財団セミナーで具体的な方向が決まるようで、少々時間はかかっていますが、明確な手続が発表されてからの本格稼働となります。

また、これらに関して2012-13年度ロータリー財団管理委員長 ウィルフリッドJ.(Wilf)ウィルキンソン氏が「ロータリーの友」誌10月号の45ページにRI指定記事として小文を載せていますので、ご参照ください。要約したものを書きますと、「財団がGSEプログラムを終了することに懸念を抱いている地区もありますが、これまで多くの地区が毎年、GSEの要件を満たす専門家を見つけることが困難で、財団がGSE指針の例外を認めなければならなかったという状況がありました。未来の夢計画ではVTTでも、新地区補助金を利用することによって、柔軟に、GSEのような活動を行うことが可能です」とあり、VTTを推進しつつも、新地区補助金を使うならGSEは継続可能との見解が記されていました。

重点分野

すべてのグローバル補助金プロジェクト、奨学金、職業研修チームは、以下の6つの重点分野のいずれかにおいて具体的目標を目指したものとする必要があります。

①平和と紛争予防／紛争解決

②疾病予防と治療

③水と衛生設備

④母子の健康

⑤基本的教育と識字率向上

⑥経済と地域社会の発展



奨学金、とGSE

地区奨学委員会

委員長 矢橋 潤一郎
(札幌東RC)

時々、財団の卓話を、との依頼を頂戴します。ありがたいことです。

地区委員長として奨学金についての話は、できます。チームリーダーとしてドイツへ派遣されたGSEの話も、できます。どちらも、財団囃し。

どちらかといえばGSEの方が、卓話としてはお楽しみいただけるかも。パワーポイントで映し出されるミュンヘンの素敵な町並み、ビールだらけの食卓、バイエルン美人。もちろん本来の目的である職業研修、当地区および日本紹介をしているプレゼンテーション風景も。

プレゼンは、例会で行います。4週間で8クラブにホストされました。8クラブにはバナーの違いのほか、点鐘の鐘に個性を見出せます。抱える課題にも個性があります。あるホストクラブは、「女性会員を入れようと考えているがどう思う?」。共通言語の英語を介して、ホームクラブの現状を紹介します。私見を交えて。

“I think”。私はこう思います、と。当委員会がまだ国際親善奨学金委員会を名乗っていた頃、先輩委員が、奨学生候補者オリエンテーションでよく仰ってました。“We Japanese think”ではない。君ら(奨学生)は、日本代表ではない。自分の意見を述べたまえ、と。私がまだペーペーの地区委員だった頃です。門前の小僧がお茶を入れながら、習わぬ経ならぬ、覚えた渡航心構えです。おかげで、フェミニズム意識の低い私の意見は、日本のロータリアンの意見とならずに済みます。ドイツ人ですから「もっと女性を大切にしないと結婚できないよ」というツッコミは、ありません。

思えば27年前、青少年交換学生として受けたオリエンテーションでは、この心構えは教えられませんでした。これを踏まえるだけで、高校生くらいなら気分的に楽になりましょう。

“I think”を踏まえずとも、お互い大変だよ、と通じるのが「未来の夢計画」。日本国内でも、おたくの地区はどうするの?てな話題が、財団関係者間で出ます。欧州のロータリアンと、GSEのVTT化も奨学金も語れるのが、地区委員長チームリーダーの強み。

ミュンヘンの音大を見学した際、オーボエ奏者の女子学生を紹介されました。きれいでした。財団奨学生です。コンクールで日本に来ています。彼女の日本滞在の様子は、Facebookで友達になっているので把握できます。当地区からの奨学生も、ぼちぼち出国しています。という様子もFacebookで。韓国から北大に来ている奨学生は、札幌真駒内RCにお世話いただいています。彼女の様子もFacebookでわかるので安心です。



ロータリー財団月間によせて

地区財団学友委員会

委員長 **菅原 秀二**
(札幌大通公園RC)

財団学友委員会は、国際親善奨学生とGSEの経験者で組織される財団学友会の活動に対する助言と支援を行う委員会です。それによって、財団学友のロータリー活動への参加を促し、逆に財団学友に対するロータリアンの理解を促進することを活動の目的としています。

今年、2012年は財団学友会創立10周年を迎え、2月11日に盛大な祝典を開催しました。その際に、多くのロータリアンや学友の参加をいただきました。この機会に感謝の意を表しておきたいと思います。写真は参加していただいた方の集合写真ですが、いかに多くの方に出席していただいたか、お分かりかと思えます。特に、これを機に日本ロータリー学友会との絆が深まったことは、これからの財団学友会の活動にとっても意義深いものとなりましょう。



今年度もロータリーへの感謝の念を忘れずに、活動を強化していきたいと考えています。毎年、恒例の帰国報告会は2013年2月2日に開催される予定ですので、ご関係のクラブばかりではなく、各クラブからも奮ってのご出席をお願いします。写真は前回の帰国報告会の様子です。今回は最後のGSEであるミュンヘンへの派遣チームの報告が中心となる予定です。

また、例年のように地区大会でのブース設営、ニュースレターの発行への支援、例会での学友による卓話の紹介も積極的にすすめていきますので、特に卓話のご要望があれば、是非、本委員会までお寄せ下さい。さらに、米山学友会との交流や学友のロータリークラブへの入会の促進も継続して行っていきます。このような学友会の活動に温かいご支援をお願いしたいと思います。

最後になりますが、長く続いた国際親善奨学金やGSEのプログラムが大幅に変わろうとしています。財団学友委員会はこのような変更に対応できるように、財団学友会に対して積極的に情報を提供し、オリエンテーションなど、後輩の指導体制を構築していきたいと考えています。



国際ロータリー第2510地区
財団学友会 設立10周年記念式典
平成24年2月11日
センチュリーロイヤルホテル

ローターアクト活動報告 福島キッズキャンプ in 北海道

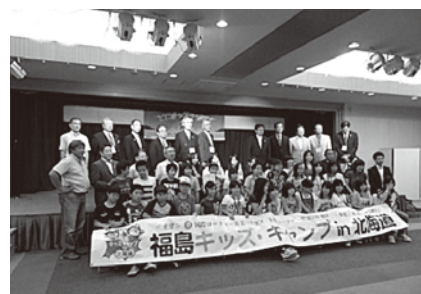


福島県飯舘村の子ども達25名、福島インターアクト4名、福島ローターアクト2名の方々が、2012年8月17日（金）～8月23日（木）までの7日間、各地区のロータリークラブのサポートを受けながら北海道の観光地などをまわりました。

<<懇親会>>

8月18日（土）に砂川パークホテルにて懇親会を行いました。当地区では、蝦名地区ローターアクト委員長とローターアクト2名が出席致しました。

第2グループガバナー補佐のご挨拶をはじめ、4つのロータリークラブ（赤平RC・芦別RC・砂川RC・滝川RC）会長のご挨拶・飯舘村の子供たちの宣言があり、ウエルカム交流会がスタートしました。



<<旭山動物園>>

8月21日（火）に蝦名地区ローターアクト委員長・川下地区ローターアクト委員・ローターアクト5名で旭山動物園での子供たちの引率をしました。とても暑い日で動物も子供たちもバテバテでしたが各々楽しんでいました。



私たちは、このプロジェクトの2日間の短い時間しか参加できませんでしたが、子供たちのひと夏のいい思い出になればと思いました。





2013年国際ロータリー国際大会 ポルトガル・リスボン国際大会最終のご案内

地区R I 国際大会推進委員会

委員長 佐々木正丞

(札幌RC・PG)

第一報で既にご案内いたしましたが、2013年R I 国際大会は6月23日(日)から26日(水)にかけて、ポルトガル・リスボンで開催されます。当地区のオン・ツー・ポルトガル・リスボン委員会は国際大会参加のためのA・Bの2コースを企画いたしました。最終日程・料金が確定いたしましたのでご案内いたします。

Aコース行程 旅行代金 お一人様 385,000円 (ビジネスクラス利用の皆様は早目にお問合せください)

【旅行費用には燃油サーチャージ・各国空港諸税が含まれています。*シングル利用は旅行費用に95,000円プラスとなります】

旅	日 時	地 名	現地時刻	交通機関	行 程	朝	昼	夕
1	6/21 (金)	新千歳発 成田着 成田発 フランクフルト着 フランクフルト発 リスボン着	8:00 9:35 11:25 16:35 19:15 21:15	NH2152 NH209 TP579	*国内線にて成田空港へ *着後、最終待合室へ移動 *一路リスボンへ向け出発〔飛行時間12時間15分〕 (フランクフルト又はヨーロッパ内にて乗継となります) *飛行機を乗継ポルトガル・リスボンへ〔飛行時間3時間5分〕 *着後、専用車にてホテルへ (リスボン泊)	—	→	→
2	6/22 (土)	リスボン (38km) シントラ (13km) ロカ岬 リスボン	終 日	専用車	*午前：世界遺産シントラとロカ岬観光 「かつての王の夏の離宮シントラ王宮、「ここに地果て、海始まる」という石碑で有名なヨーロッパ大陸最西端ロカ岬。」 *午後リスボン市内観光(約4時間) *世界遺産ジェロニモス修道院～ベレンの塔～サンロケ教会～発見のモニュメント等 ◆自由行動も可能です (リスボン泊)	ホ テ ル	レ ス ト ラ ン	レ ス ト ラ ン
3	6/23 (日)	リスボン滞在	終 日		◆世界大会 開会式参加 *一回目 9:45～12:15分予定 *二回目 15:30～18:00予定 ◆北海道ナイト(希望者のみ) 19:00～予定 (リスボン泊)	ホ テ ル	×	×
4	6/24 (月)	リスボン滞在	終 日		*日本人親善朝食会(希望者のみ) 6:30～予定 ◆終日自由行動 ◆ご希望によりオプションツアーも可能です。 (リスボン泊)	ホ テ ル	×	×
5	6/25 (火)	リスボン滞在	終 日		◆終日自由行動 ◆ご希望によりオプションツアーも可能です。 (リスボン泊)	ホ テ ル	×	×
6	6/26 (水)	リスボン発 フランクフルト着 フランクフルト発	14:25 18:30 20:45	TP576 NH210	*空路、帰国の途へ (フランクフルト又はヨーロッパ内にて乗継となります) *フランクフルトを後に、成田へ向け出発 (機中泊)	ホ テ ル	→	→
7	6/27 (木)	成田着 成田発 新千歳着	15:00 18:30 20:10	NH2155	*着後、入国手続きを済ませ国内線移動 *国内線にて新千歳へ *着後、無事解散	→	→	×

この日程は2012年10月10日現在のスケジュールです。発着時間、交通機関などは変更になる場合がございます。

*NH：全日空 TP：ポルトガル航空

★利用予定ホテル：ホテル・ソフィテル・リスボン・リベルダーデ

★最少催行人員：10名

★添乗員：往路リスボンまで同行いたします。到着後は現地係員がご案内いたします。

Bコース行程 旅行代金 お一人様 487,000円 (ビジネスクラス利用の皆様は早目にお問合せください)

【旅行費用には燃油サーチャージ・各国空港諸税が含まれています。*シングル利用は旅行費用に90,000円プラスとなります】

旅	日時	地名	現地時刻	交通機関	行程	朝	昼	夕
1	6/21 (金)	新千歳発 成田着 成田発 フランクフルト着 フランクフルト発 リスボン着	8:00 9:35 11:25 16:35 19:15 21:15	NH2152 NH209 TP579	*国内線にて成田空港へ *着後、最終待合室へ移動 *一路リスボンへ向け出発〔飛行時間12時間15分〕 (フランクフルト又はヨーロッパ内にて乗継となります) *飛行機を乗継ポルトガル・リスボンへ〔飛行時間3時間5分〕 *着後、専用車にてホテルへ (リスボン泊)	—	→	→
2	6/22 (土)	リスボン (38km) シントラ (13km) ロカ岬 リスボン	終日	専用車	*午前：世界遺産シントラとロカ岬観光 「かつての王の夏の離宮シントラ王宮、「ここに地果て、海始まる」という石碑で有名なヨーロッパ大陸最西端ロカ岬。」 *午後リスボン市内観光(約4時間) *世界遺産ジェロニモス修道院～ベレンの塔～サンロケ教会～発見のモニュメント等 ◆自由行動も可能です (リスボン泊)	ホテル	レストラン	レストラン
3	6/23 (日)	リスボン滞在	終日		◆世界大会 開会式参加 *一回目 9:45～12:15分予定 *二回目 15:30～18:00予定 ◆北海道ナイト(希望者のみ) 19:00～予定 (リスボン泊)	ホテル	×	×
4	6/24 (月)	リスボン (130km) エヴォラ (325km) セビリア	朝 午前 夕方	専用車	*日本人親善朝食会(希望者のみ) 6:30～予定 *世界遺産エヴォラ観光へ *ディアナ宮殿～カテドラル～サン・フランシスコ教会等 *国境をこえ、スペイン・アンダルシア地方の中心セビリアへ *着後セビリア観光：世界遺産カテドラル～ヒラルダの塔～スペイン広場等 (セビリア泊)	ホテル	レストラン	レストラン
5	6/25 (火)	セビリア (235km) ミハス (156km) グラナダ	朝 昼 夕方	専用車	*アンダルシア地方の古都グラナダへ *途中、コスタ・デル・ソルの白い村ミハスを散策 *着後、グラナダ市内観光 世界遺産アルハンブラ宮殿とヘネラリーフェ庭園～大聖堂等 (グラナダ泊)	ホテル	レストラン	レストラン
6	6/26 (水)	グラナダ (419km) マドリッド	朝 午後	専用車	*首都マドリッドへ *着後、マドリッド市内観光 「プラド美術館～王宮～スペイン広場～プエルタ・デル・ソル等」 (マドリッド泊)	ホテル	レストラン	レストラン
7	6/27 (木)	マドリッド発 フランクフルト着 フランクフルト発	16:20 19:05 20:45		*空路、帰国の途へ〔飛行時間2時間30分〕 (フランクフルト又はヨーロッパ内にて乗継となります) *フランクフルトを後に成田へ向け出発〔飛行時間11時間30分〕 (機中泊)			
8	6/28 (金)	成田着 成田発 新千歳着	15:00 18:30 20:10	NH2155	*着後、入国手続きを済ませ国内線移動 *国内線にて新千歳へ *着後、無事解散	→	→	×

この日程表は2012年は10月10日現在のスケジュールです。発着時間、交通機関などは変更になる場合がございます。

*NH：全日空 TP：ポルトガル航空 LH：ルフトハンザドイツ航空

★利用予定ホテル：○リスボン：ホテル・ソフィテル・リスボン・リベルターテ又は同等クラス ○セビリア：メリア・セビリア又は同等クラス

○グラナダ：N・Aナザリエス又は同等クラス ○マドリッド：グラン・メリア・フェニックス又は同等クラス(*2名様1室利用)

★旅行費用には、Aコース・Bコースとも北海道ナイト料金は含まれておりません。詳細については改めてご連絡いたします。参加費用は10,000円を予定しています。

★最少催行人員：15名 ★添乗員：全行程同行いたします。

【申込締切】2013年1月21日(月) *当地区での参加人数はホテルの確保並びに飛行機座席の関係から、先着順で受付満員になり次第締切りとさせていただきます。**【お問合せ・お申込み】** (株)日本旅行北海道札幌支店 札幌市中央区南1条西4丁目 日本旅行札幌ビル4階
電話：011-208-0170 FAX：011-208-0174 担当：前野・西村**【国際大会登録に関して】** ★大会登録料は早期登録で割引となります。2012年12月15日までUS\$265 2013年3月31日までUS\$315 現地登録US\$365
★登録方法は、オンライン・eメール・ファックス・郵送の方法があります。詳細は2013年国際ロータリー年次大会「登録及びチケット申込書」を参照ください。ご不明な点があればお問合せください。

公式訪問報告

留萌ロータリークラブ 8月29日(水)

8月29日(水)細川ガバナー、清水ガバナー補佐同席のもと、午前10時から会長・幹事懇談会、11時からクラブ協議会、12時15分から例会を開催いたしました。

会長・幹事懇談会では、山本会長がクラブ活動の現況を報告し細川ガバナーのお考えと助言を戴きました。クラブ協議会は、各委員長が今年度の活動計画を説明し、細川ガバナーより質問と適切なアドバイスを戴き、緊張の中にも細川ガバナーの真摯な人柄に、和やかで有意義な時間を過ごすことが出来ました。例会では、「奉仕を通じて平和

を」のR1テーマと地区目標を分かりやすく講話を戴きました。例会終了後、ガバナーご夫妻をプリントした手作りの一文字幕をバックに、記念の写真撮影が行われ全プログラムを終えました。

この度は、8月28、29、30日の3日間で第1グループ4クラブを巡るスケジュールと残暑の中で開催されましたが30日夜、ガバナーが無事帰宅しました、との報を耳にし、ホッと胸をなでおろした公式訪問でした。



羽幌ロータリークラブ 8月30日(木)

本年度のガバナー公式訪問として、8月30日(木)、細川ガバナー、清水ガバナー補佐、森ガバナー補佐室長の3名で当クラブをご訪問戴きました。

本年度は当クラブ単独での公式訪問として開催致しました。午前10時から当クラブの会長、会長エレクト、幹事との懇談会。10時30分からのクラブ協議会では、各委員長から活動計画及び進行状況を発表した後、細川ガバナーからそれぞれの計画に対し、感想及び具体的なお指摘、ご指導を戴きました。

12時15分からの例会では、細川ガバナーよりロータリーの最新情報やご自身の体験を踏まえた地域での活動の様子など貴重なお話をして戴き、無事公式訪問を終えられました。



伊達ロータリークラブ 9月4日(火)

9月4日(火)細川好弘ガバナー、飯尾哲也ガバナー補佐、吉澤政彦ガバナー補佐幹事をお招きして公式訪問が行われました。

当日は、10時から会長・幹事懇談会、11時からクラブ協議会、12時30分から例会を行いました。クラブ協議会では5大奉仕委員会の活動計画及び目標を発表し、細川ガバナーには大変解り易く助言を戴きました。

例会に於いては、細川ガバナーにプロジェクターを利用しての卓話を戴き、今年度の地区目標を詳しく説明され、大変良く理解できました。

前日の細川ガバナーを囲んでの食事会でも、気さくにお話しをされて、大変有意義なガバナー公式訪問でした。細川ガバナーの当クラブへの訪問に心より感謝申し上げます。



室蘭東ロータリークラブ 9月5日(水)

9月5日(水)細川好弘ガバナー、飯尾ガバナー補佐、吉沢補佐幹事をお迎えして、午前10時より会長、会長エレクト、幹事の懇談会が行われ、当クラブ松永会長より今年度活動方針全般を説明致しました。

午前11時からのクラブ協議会では5大奉仕委員長より活動計画を発表、ガバナーより感想、助言等を戴きました。また北海道大谷室蘭インターアクトクラブについては熱心に質問、アドバイスを戴きました。当クラブが10年間続けている「あれこれなんでも相談」の活動を紹介し、和やかな雰囲気の中終了致しました。



12時30分より例会で、全会員緊張のなか、拍手を持ってお迎え致しました。細川ガバナーが今年度田中作次R I会長のテーマ「奉仕を通じて平和を」について、プロジェクターを活用しお話がありました。また、当地区の地区目標を熱く語って戴きました。例会終了後、細川ガバナーを囲んで写真撮影を行い、全会員にとってまたとない記念となりました。

ご多忙の中、十分健康には気をつけて公式訪問が無事終わる事を願っています。

洞爺湖ロータリークラブ 9月6日(木)

強行日程の細川好弘ガバナーには誠に申し訳ありませんでしたが、9月6日公式訪問日の朝に洞爺湖町長への表敬訪問をセッティングさせて戴きました。たっぷり30分間の町長との懇談の後、噴火の防災施設等の視察もして戴きました。

午前10時からの会長・幹事懇談会から、飯尾ガバナー補佐、吉沢ガバナー補佐幹事にもご同席戴き、当クラブの秋田会長より極小クラブの活動現況を報告し、細川ガバナーからは会員増強について貴重なアドバイスを頂戴しました。

11時からのクラブ協議会では、9月8日、9日に実施される北海道ツーデーマーチでの第9グループの合同奉仕事業についても説明させて戴きました。

12時からの例会では、プロジェクターを駆使し、「奉仕を通じて平和を」の精神を細川ガバナーから分かり易く力強くご伝授戴きました。本例会中に当ロータリークラブより交通安全協会へ交通安全旗100枚の贈呈を細川ガバナー立会いの下、実施致しました。

尚、9月8日の合同奉仕活動には伊達市で開催中の地区親睦野球大会より細川ガバナーが駆けつけて下さり激励の言葉を頂戴しました。細川ガバナーの益々のご健勝をお祈り申し上げます。

**札幌北ロータリークラブ 9月10日(月)**

細川好弘ガバナー公式訪問は、10時よりの会長・幹事懇談会にて開始されました。細川ガバナーと藤森ガバナー補佐よりクラブの様子、活動内容に対するヒアリングがあり、現在実施中の児童養護施設への野外時計の設置の地区補助金事業や、今後実施予定の震災支援事業、国際人道支援の活動等の報告を致しました。ガバナー、ガバナー補佐からは、それに対する労いの言葉を戴きました。

そのあと、11時からクラブ協議会にて各委員会からの活動詳細が述べられました。その後の例会にて、細川ガバナーから今年度の方針、更に各委員会の活動に対する温かなアドバイスを戴きました。更には、今年度の強調事項であります、新世代部門の今後、震災補助金に対する御助言を戴きました。特に各委員会の活動には、一つ一つの委員会にアドバイスを戴き、各委員会は活動へのモチベーションを高くしました。

細川好弘ガバナーの温かいお人柄が現れた、大変素晴らしいガバナー公式訪問となりました。



江別西ロータリークラブ 9月11日(火)

細川好弘ガバナーの公式訪問が9月11日、江別市民会館にて行われました。10時から増山柳ガバナー補佐も同席して会長・幹事懇談会が行われました。会員数の現状、増強への取り組み、CLP導入後の状況や各種活動の内容などを報告しアドバイスをいただきました。

11時からは、理事役員も参加してクラブ協議会を開催しました。職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕、新世代担当の各担当理事より今年度の活動方針および活動計画について報告がありました。

12時30分からガバナー公式訪問例会を開催しました。ガバナーからは、今年度のテーマを「奉仕を通じて平和を」にした田中作次RI会長のお話やRIの戦略計画、地区の強調事項、地区目標などについてのご講話をしていただきました。

最後に全員で記念撮影をし、無事、閉会となりました。



栗沢ロータリークラブ 9月12日(水)



9月12日(水)細川ガバナーが増山第3グループガバナー補佐とともに当クラブをご訪問下さいました。

当日、10時からの会長・会長エレクト・幹事との懇談会では、当クラブの現状等、特に会員増強について意見交換がありました。その中で、本年度の当クラブのテーマ「活動内容の継承、そしてあと一歩」をお伝えしました。

また、11時からのクラブ協議会は、各委員長より年間活動方針と活動計画を報告・説明の後、細川ガバナーから今後の活動に生かされる適切なコメントをいただきました。

その後、12時10分から例会にご出席いただき、改めてR1テーマ「奉仕を通じて平和を」に沿った3つの地区目標を挙げ、本年度の当クラブの運営に活用願う奉仕活動を楽しんで欲しいとご挨拶をいただきました。また、2012-13年度平和フォーラムについても触れられ、積極的な参加を、とのお話がありました。

最後に、参加者全員で記念写真を撮り、このたびの公式訪問が無事に終了しました。細川ガバナー、当クラブへお越しいただきましてありがとうございました。

滝川ロータリークラブ 9月13日(木)

9月13日(木)細川好弘ガバナー、篠島弘ガバナー補佐をお迎えし、ガバナー公式訪問が開催されました。前日の12日に当地で宿泊されるとのことでしたので、ガバナーを囲んで欧風居酒屋にて歓迎懇親会の場を持ちました。楽しく談笑し、その後の2次会ではガバナーの美声をお聞きすることができました。

翌日、午前10時からの会長・幹事懇談会では会長・幹事の責務についてご指導いただき、11時からのクラブ協議会では、各委員会から活動計画を発表し、ガバナーよりアドバイス・感想を戴きました。続いて行われた例会では、今年度のテーマ「奉仕を通じて平和を」と地区目標(3項目)について、落ち着いた声のある、大変聞き取りやすい声で解説下さいました。スピーチの最後の、すべて「私次第」は心に響きました。

和やかな雰囲気の中で例会を終了し、その足で、ほぼ完成しグランドオープンを待つ、難病の子供たちを支援するキャンプ場=そらぶちキッズキャンプの視察をして戴き、その後ゆっくりされる暇もなく美唄へ向かわれました。

大変有意義な時間を共有することができました。ありがとうございました。



美唄ロータリークラブ 9月13日(木)

午後4時30分より細川ガバナー、増山ガバナー補佐をお迎えして、円子会長・宝崎エレクト・山田幹事出席の下、美唄クラブの抱えている問題等について懇談し終始和やかな中で開催されました。続いて5時30分より、役員・理事・各委員長が出席の下、クラブ協議会が開催され、各委員長による活動方針の発表を行い、コメントとしてガバナーより各委員会にアドバイスを戴いたことで活動方針が更に明確になりました。

記念写真撮影後の第1909回夜間例会では、ガバナーからR Iテーマに関して卓話を頂戴しました。ご自身の抱負談なども交え、大変分かりやすい言葉でのお話に、今年度の方針や心構え、考え方について、会員一同の意識統一がより強固になりました。

午後7時30分、終始和やかな雰囲気の中にも内容の濃い、大変有意義な例会が終了いたしました。

**札幌あけぼのロータリークラブ 9月14日(金)**

厳しい残暑が続く9月14日(金)、細川ガバナー、藤森ガバナー補佐を石屋製菓「白い恋人パーク」にお迎えして、ガバナー公式訪問が行われました。当日は早めにご到着戴いて、最初に白い恋人製造ライン等の見学コースをお楽しみ戴きました。午前10時より4階のアンティーク家具に囲まれた喫茶で、会長・幹事懇談会を開催。会長より会長方針や事業計画・現況報告等が説明され、終始和やかな懇談が行われました。窓越しからは真っ青な空と緑豊かな手稲の山々やサッカー場が望め、ガバナーにはご満喫戴いたのではないかと思います。11時より地下一階の例会場にてクラブ協議会を開催。各委員長より活動方針や事業計画等の報告が行われ、丁寧なご講評にガバナーの実直なお人柄に触れることが出来ました。



例会では、ガバナー自らご持参戴きましたプロジェクターによりR I会長の紹介をはじめR Iと地区のテーマなど画像を通して解りやすく有意義なご説明。ガバナーの美声と歯切れの良い語り口に一同聞きほられました。その後、サッカー場レストランに移動して記念撮影、昼食と時間の許す限りご懇談戴きました。プロジェクターセットの入った荷物のあまりの重さに驚きました。熱意とお人柄に本当に感謝申し上げます。

札幌清田ロータリークラブ 9月18日(火)

9月18日、細川好弘ガバナーと武部實第5グループ担当ガバナー補佐をお迎えし、クラブ・アッセンブリーでは今年度の当クラブの活動計画に対し両氏より講評をいただきました。

私達はクラブ発足より「地域密着」「汗を流す奉仕」「全員で協力し合ってやり遂げる」を合言葉に数々の事業を展開して参りました。地域と深めてきた継続事業は①清田小学校「ことばの教室」(言語障害児通級教室)へのふれあい活動は子ども達の潜在能力を引き出した。②清田森づくりに120本の樹木を植樹し寄贈した。今は地域で「いこい」の場として愛されている。③パークゴルフ場整備と大会を開催し地域の高齢者とふれあい交流をしている。④清田区役所前に花時計を寄贈し毎年花を植え維持管理をしている。

講評として、地域に根差した活動に会員が汗を流し生き生きとした交流へ発展させている。会員が四つのテストを活かす努力をしている。今、CLPを推進しているが当クラブはCLPの実践形で行政との関係も有意義であるとのことでありました。ご指導賜り有難うございました。



余市ロータリークラブ 9月19日(水)

公式訪問前日の夕刻に細川好弘ガバナーが余市に到着され、ガバナー補佐の谷川淑郎会員とガバナー補佐事務局長の高橋哲雄会員、事務局員の本多宏行会員、高橋弘会員がお迎えに上がり、宿泊先である当クラブの山田昭恵会員の経営するホテル水明閣までご案内致しました。午後6時から同ホテルで会長、副会長、幹事、副幹事を交えて会食をしました。2次会では、当クラブの木村美紀会員の経営するスナックで余市のウイスキーを堪能していただきました。

翌日の9月19日(水)は同ホテルにおいて、午前10時より会長・幹事懇談会、11時よりクラブ協議会、12時30分より例会を行いました。会長・幹事懇談会では吉原伸会長より当クラブの特徴、今年度の取り組みについて説明が行われました。クラブ協議会では各委員会の委員長から報告があり、ガバナーから各々の委員会に示唆に富んだご意見をいただきました。例会ではガバナーから今年度のR Iのテーマ、地区目標、ロータリーの未来へ繋げるための地区の取り組みなどについてのご講演を拝聴しました。

例会終了後、ガバナーはガバナー補佐や事務局長とともに余市ニッカウイスキー工場を見学されて次の訪問地へと向かわれました。



小樽銭函ロータリークラブ 9月20日(木)

細川ガバナー、谷川ガバナー補佐、高橋ガバナー補佐事務局長をお迎えして10時より会長・幹事懇談会、11時よりクラブ協議会、12時30分より例会を開催致しました。

会長・幹事懇談会では、ガバナー補佐の経験のある藤田理事及び事務局長経験の長尾副幹事も同席し、当クラブの近況について報告させて戴きました。和やかな雰囲気の中で有意義な懇談会を行うことができました。引き続きクラブ協議会に移り、各委員長による今期の事業計画及び活動方針について具体的に説明致しました。細川ガバナーから基本を忘れずに楽しく、明るいクラブづくりを…地区補助金など有効な利用を考えてはどうか?など多くのアドバイスを戴きました。その後例会を開催。会員の中には日高出身の方もいるため和気藹々と進められました。

後半から細川ガバナーより今年度の田中作次R I会長のテーマ「奉仕を通じて平和を」についてプロジェクターを使用して説明され、改めて勉強の機会となりました。例会終了後、細川ガバナー、谷川ガバナー補佐、高橋事務局長を囲んで写真撮影を行い良い記念となりました。



室蘭北ロータリークラブ 9月25日(火)

9月25日(火)、飯尾ガバナー補佐及び吉澤ガバナー補佐幹事の同行により、細川ガバナーの公式訪問を戴きました。細川ガバナーには、会長・幹事懇談会、クラブ協議会そして例会にご出席戴き、クラブ協議会では各委員長から今年度の活動計画を発表させて戴きました。

クラブ協議会では、今年度からCLPを導入し活動方法の変更があったこと。また、継続している奉仕活動等について具体的に各委員会から報告がありました。

例会においては、細川ガバナーから、R I会長のテーマである「奉仕を通じて平和を」、および第2510地区の強調事項である「心・家族・地域・世界に平和の恩恵を」と地区目標である三項目についての基調講演を戴き、有意義な時間を過ごしました。本当にありがとうございました。



第9グループ合同奉仕活動報告

洞爺湖ロータリークラブ

幹 事 吉 田 聡

9月8日（土）、9日（日）、洞爺湖畔を会場として開催された第25回北海道ツーデーマーチにおいて、第9グループ合同奉仕活動を実施しました。

伊達RC、室蘭RC、室蘭東RC、室蘭北RC、登別RC、洞爺湖RCの各クラブより、2日間延べ57名の会員、家族の参加を得ての奉仕活動。ウォーキング参加者へのオニオンスープ、ベイクドポテト、キャロットの無料提供で遠来の参加者から大変喜ばれました。

第1日目には公式訪問でお忙しい中、細川ガバナーが駆けつけて下さり激励の言葉を戴きました。第9グループ、今後も飯尾ガバナー補佐の下に前進あるのみ。



米山記念奨学会へのご協力に感謝申し上げます

◆米山功労者

砂川RC	阿部 博一 会員 (1回) 9月1日	美唄RC	宝崎 錠二 会員 (4回) 9月27日	札幌南RC	田尾 大樹 会員 (1回) 9月26日
砂川RC	千葉 清 会員 (4回) 9月1日	美唄RC	井門 英明 会員 (8回) 9月27日	札幌南RC	網野 泰文 会員 (1回) 9月26日
砂川RC	伊藤 徳博 会員 (4回) 9月1日	札幌西RC	森谷 明弘 会員 (10回) 9月4日	札幌南RC	徳中 征之 会員 (2回) 9月26日
砂川RC	銚井 直作 会員 (1回) 9月6日	札幌南RC	富樫 昭夫 会員 (1回) 9月26日	札幌南RC	師尾 純一 会員 (4回) 9月26日
砂川RC	曾我 悦工 会員 (1回) 9月6日	札幌南RC	伊藤 清 会員 (1回) 9月26日	札幌南RC	佐藤源五郎 会員 (8回) 9月26日
砂川RC	沢田 幸三 会員 (3回) 9月6日	札幌南RC	荒井 竜一 会員 (1回) 9月26日	函館RC	国立 金助 会員 (3回) 9月6日
砂川RC	瓜 俊雄 会員 (3回) 9月6日	札幌南RC	山本 勤 会員 (1回) 9月26日	◆米山功労クラブ	
砂川RC	北谷 好文 会員 (4回) 9月6日	札幌南RC	本間 良二 会員 (1回) 9月26日	美唄RC	(10回) 9月27日
砂川RC	西川 博久 会員 (4回) 9月6日	札幌南RC	佐藤 嘉一 会員 (1回) 9月26日	札幌南RC	(38回) 9月26日

ロータリー財団へのご協力に感謝申し上げます

◆マルチプル・ボール・ハリス・フェロー

砂川RC	西川 博久 会員 (1回) 9月	札幌南RC	小林 昌志 会員 (4回) 9月
砂川RC	北谷 好文 会員 (2回) 9月	新札幌RC	嘉屋 輝夫 会員 (2回) 9月
砂川RC	畠山 豊 会員 (1回) 9月	函館RC	国立 金助 会員 (7回) 9月
札幌北RC	竹原 巖 会員 (4回) 9月	函館RC	藤井 方雄 会員 (3回) 9月
札幌北RC	草間 孝廣 会員 (1回) 9月	函館RC	勝木 俊彰 会員 (4回) 9月
札幌南RC	松家 治道 会員 (1回) 9月		

◆ボール・ハリス・フェロー

砂川RC	銚井 直作 会員	9月
砂川RC	曾我 悦工 会員	9月
札幌北RC	澁田 勲 会員	9月
札幌北RC	栗原 清昭 会員	9月
札幌北RC	斉藤 昌一 会員	9月
新札幌RC	佐々木美和子 会員	9月

新会員のご紹介

(敬称略)



室蘭東RC
濱口 知由
7月4日入会
電信電話業



森RC
奥野 浩範
7月4日入会
医療関係



岩見沢RC
小川 有積
9月13日入会
印刷



蘭越RC
小澤 修
10月1日入会
郵便事業



江別RC
鈴木 健治
10月4日入会
葬儀業



浦河RC
対馬 秀樹
10月16日入会
銀行業

訃報

慎んでお悔やみ申し上げますとともに
心からご冥福をお祈り致します



二川 秀樹会員
(美唄RC)

2012年8月10日逝去
(享年70歳)

【ロータリー歴】

1995年2月23日 入会
2003~04年度 クラブ会長

【表彰関係】

ポール・ハリス・フェロー

文庫通信



(301号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万3千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

地区大会の講演と新着資料より

◎「ロータリーと戦略計画」	三木 明	2012	6p (D.2720)
◎「ロータリーの進化について」	重田 政信	2012	8p (D.2790)
◎「ロータリーの心と原点」	廣畑 富雄	2012	10p (D.2740)
◎「善き仲間と共に」	中村 靖治	2012	6p (D.2740)
◎「ロータリーの心を学ぶための教育の場にもう一度作り変えていく」	上野 孝	2012	6p (D.2740)
◎「私が歩みし職業奉仕」	藤川 享胤	2012	13p (D.2670)

[上記申込先：ロータリー文庫]

◎「日本ロータリーの曙」	田中 毅	源流の会	2012	63p
	(申込先：田中 毅)			FAX (06) 6491-9899)
◎「発達障害はどこでつまずくのかVol.3 DVD」		D.2680	2012	
	(申込先：D.2680)			FAX (078) 304-2681)

地区カレンダー (11月・12月)

11月 ロータリー財団月間		12月 家族月間	
1(木)	公式訪問(札幌東RC)	1(土)	
2(金)		2(日)	
3(土)	文化の日	3(月)	
4(日)		4(火)	
5(月)		5(水)	
6(火)	札幌セントラルRC創立10周年記念例会 公式訪問(苫小牧北RC)	6(木)	
7(水)		7(金)	
8(木)	公式訪問(江別RC)	8(土)	2013-14年度ガバナー補佐会議(江別)
9(金)		9(日)	
10(土)	2012-13地区補助金管理セミナー(札幌) 米山学友会(北海道)総会・家族懇親会(札幌)	10(月)	
11(日)		11(火)	
12(月)		12(水)	
13(火)	公式訪問(岩見沢東RC)	13(木)	
14(水)		14(金)	
15(木)	公式訪問(苫小牧東RC)	15(土)	
16(金)		16(日)	
17(土)	第3グループIM(江別)	17(月)	地区ガバナー指名委員会(札幌)
18(日)		18(火)	
19(月)		19(水)	
20(火)	公式訪問(浦河RC)	20(木)	
21(水)	公式訪問(静内RC)	21(金)	
22(木)		22(土)	
23(金)	勤労感謝の日	23(日)	天皇誕生日
24(土)		24(月)	振替休日
25(日)		25(火)	
26(月)	ロータリー財団地域セミナー(東京)	26(水)	
27(火)	第2回ガバナー・エレクト研修セミナー(東京) 第2回ガバナー会(東京)	27(木)	
28(水)	~29(木)ロータリー研究会(東京)	28(金)	
29(木)		29(土)	
30(金)	ガバナー・エレクト、次期地区米山委員長合同セミナー (東京)	30(日)	
		31(月)	

2012年11月のロータリーレート 1ドル80円

出席率・会員数

グループ	クラブ名	例会数	会 員 数				出席率
			2012.7.1	2012.9.30	増 減	内女性	
1	深 川	4	37	35	-2	2	83.00
	羽 幌	4	46	47	1	2	82.95
	妹 背 牛	4	10	12	2	0	81.25
	留 萌	4	43	43	0	3	81.87
	小 計		136	137	1	7	82.27
2	赤 平	4	28	31	3	0	75.00
	芦 別	4	37	37	0	1	77.78
	砂 川	4	47	47	0	0	94.12
	滝 川	4	84	87	3	3	73.00
	小 計		196	202	6	4	79.98
3	美 唄	4	33	32	-1	0	83.97
	江 別	4	34	35	1	1	76.42
	江 別 西	4	26	26	0	3	96.20
	岩 見 沢	4	80	82	2	0	94.13
	岩 見 沢 東	4	21	23	2	2	77.76
	栗 沢	4	23	23	0	1	97.00
	栗 山	4	23	24	1	2	96.88
	当 別	4	27	28	1	1	87.17
	小 計		267	273	6	10	88.69
4	札 幌	4	110	122	12	0	97.85
	札幌あけぼの	4	15	15	0	2	100.00
	札幌はまなす	4	17	17	0	3	94.12
	札 幌 北	3	32	33	1	4	95.77
	札幌モーニング	4	44	48	4	0	76.62
	札 幌 西	4	47	49	2	5	90.56
	札 幌 西 北	4	33	33	0	3	87.90
	札 幌 手 稻	3	31	31	0	3	88.34
	小 計		329	348	19	20	91.40
5	札 幌 東	4	121	125	4	0	98.29
	札 幌 清 田	4	20	19	-1	5	100.00
	札 幌 幌 南	4	50	51	1	0	100.00
	札幌真駒内	4	23	23	0	3	100.00
	札 幌 南	3	80	81	1	0	99.18
	札幌大通公園	4	12	14	2	1	60.71
	札幌セントラル	4	7	7	0	3	85.70
	新 札 幌	4	27	27	0	3	70.87
小 計		340	347	7	15	89.34	
6	岩 内	4	21	21	0	0	69.05
	倶 知 安	4	36	37	1	6	75.60
	小 樽	4	70	73	3	0	89.82
	小 樽 南	4	71	71	0	2	90.66
	小 樽 銭 函	4	20	21	1	2	80.00
	蘭 越	3	10	11	1	0	97.00
	余 市	4	43	43	0	4	68.80
	小 計		271	277	6	14	81.56

9月出席率・
会員増減数

クラブ数	72クラブ
期首会員数	2,560人
当月末会員数(女性)	2,644人(114人)
増加会員数	84人
当月平均出席率	85.01%

グループ	クラブ名	例会数	会 員 数				出席率
			2012.7.1	2012.9.30	増 減	内女性	
7	千 歳	4	49	51	2	3	95.40
	千歳セントラル	4	33	35	2	3	81.42
	恵 庭	4	42	43	1	3	83.56
	北 広 島	4	16	17	1	0	92.65
	長 沼	3	19	19	0	3	85.96
	由 仁	4	9	9	0	1	100.00
	小 計		168	174	6	13	89.83
8	え り も	4	26	25	-1	1	91.00
	三 石	3	15	15	0	2	71.10
	様 似	4	24	24	0	1	72.90
	静 内	4	72	71	-1	0	79.83
	浦 河	4	34	33	-1	1	63.97
	小 計		171	168	-3	5	75.76
9	伊 達	4	54	54	0	0	78.00
	室 蘭	4	40	41	1	0	100.00
	室 蘭 東	4	38	39	1	0	81.42
	室 蘭 北	4	33	37	4	2	75.55
	登 別	4	31	33	2	1	84.38
	洞 爺 湖	3	9	9	0	0	100.00
	小 計		205	213	8	3	86.56
10	函 館	4	79	87	8	0	83.07
	函 館 亀 田	3	39	38	-1	4	92.17
	森	4	42	43	1	0	74.00
	七 飯	4	15	17	2	0	67.00
	長 万 部	3	8	8	0	0	75.00
函館セントラル	4	28	30	2	2	65.00	
小 計		211	223	12	6	76.04	
11	江 差	4	10	10	0	1	86.70
	函館五稜郭	4	39	45	6	0	93.06
	函 館 東	4	43	46	3	6	78.75
	函 館 北	4	25	24	-1	0	91.67
	北 斗	4	15	15	0	0	54.00
	松 前	2	3	4	1	0	100.00
小 計		135	144	9	7	84.03	
12	白 老	4	28	30	2	1	81.00
	苫 小 牧	4	47	52	5	2	87.58
	苫 小 牧 東	4	28	28	0	4	83.04
	苫 小 牧 北	4	28	28	0	3	96.23
	小 計		131	138	7	10	86.96
合 計		2,560	2,644	84	114	85.01	

11月のことば

ロータリー財団未来の夢計画の標語です。ロータリアンが健康状態を改善し教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにすることです。

さあ、みんなで良いことをしよう。

ガバナー 細川 好弘 書

